



理念
愛と希望
使命
濟生(国民の生を救うこと)の心のもとに
医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、
社会の発展に尽くします。

基本方針

- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平・安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地元の皆様に必要な医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協働・信頼・感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県済生会前橋病院



前橋市立東小学校 6年1組 宮下菜月さん

毎年、病院祭「ふれあいデー」で地元小学校3校を対象にした絵画コンテストを開催、展示させていただいております。今年のテーマは「あったらいいな、こんな病院」です。病院賞に輝いた絵をご紹介します。

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関し個人の情報を保護する権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できるまで医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。



通勤の風景から

管理局長
岡野弘文

私は市の東から南部大橋を渡り車で通勤しています。

通勤を始めてすぐの頃、小相木交差点を左折し路側を走る通勤通学の自転車に注意しながら進むと、ふと高さ1メートルくらいの石碑が目に入りました。『真政の渡し』と読みました。さっそく昼休みに見に行くと、石碑というより四角い道標風の石柱に『真政(実正)の渡し』、裏に『あずま道・高崎、前橋をつなぐ利根川の渡し、明治三年舟橋ができて廃止された』とあります。そしてこの碑は東地区自治会と歴史散歩の会が平成15年に建てたとありました。

私は昭和50年頃利根川の渡し船を調べたことを思い出しました。

当時、県道を船で渡した箇所が三箇所ありました。現在でも現役の島村渡船(伊勢崎市、当時は境町)、赤岩渡船(千代田町、当時は村)と廃止された千津井渡船(明和町、当時は村)です。現地を訪ねると、赤岩渡船の近くに造船所が一カ所ありました。海なし県群馬にも造船業があることに驚きました。江戸時代から盛んであった利根川舟運の名残なのかもしれません。

ところで『真政の渡し』について少し調べてみました。東地区の風物歴史を詠んだ『あずまかるた』に『㊦ 真政の渡しも今は南部大橋』とあります。また、『㊧ 耳をすますと歴史がささやく東道』とあり、それらの解説から、真政の渡しは奈良時代の官道東山道があずま道と呼ばれ、渡しはその一部であったことが判りました。

さらに調べると、インターネット上に幕末安政の頃、ここを渡った人の道中日記が紹介されました。『さねまさ…川船三文宿なし…』とあり船賃が判ります。江戸時代蕎麦が16文で二八蕎麦と言ったという説を参考にすると、船賃は蕎麦2杯分です。

碑の裏面に『明治三年舟橋ができて渡し船は廃止』とあります。舟橋はどこにできたのでしょうか。船や筏をつなげその上に板を渡した舟橋を架けるにしては、今の流れは急流です。少し上流にできたのでしょうか。1885年(明治18)には利根川全延長322キロメートルで最初に架橋された利根橋が開通すると船橋も廃止されたのでしよう。

通勤途中のふとしたことから調べる中で、地元の人たちのわが病院に対する温かい思いも学びました。

『㊨ 地域医療支える拠点済生会』

地域の人の熱い期待を再認識し、病院の使命を強く胸に刻むことができました。

介護老人保健施設 “あずま荘” ついでどんなとこころっ?

あずま荘



庄長
福田 丈三

毎回“診療科紹介シリーズ”で、当院の診療科について紹介しておりますが、今回は併設している“あずま荘”についてお話をさせていただきます。

日本人の平均寿命は男性が80歳、女性が86歳と共に80歳を超えました。しかしできれば寝たきりではない老後を自宅で送りたいものです。そのため、できるだけ住み慣れた家庭や地域で生活できるよう社会的に支援してゆくという趣旨で、介護保険法が平成12年4月1日に施行されました。介護保険でサービスを提供できる施設を介護保険施設と言い、次の3種類の施設があります。

1. 介護老人保健施設（老健：病院から在宅に戻る前のワンクッション）
2. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム；特養：在宅生活が困難で**終の棲家**）
3. 介護療養型医療施設（療養型病床群：）

あずま荘はいわゆる「**老健**」と言われる介護老人保健施設で、平成元年に創設されました。介護を必要とする高齢者の自立を支援し在宅への復帰を目指す、もっとも介護保険法の趣旨に沿った施設です（入所：70床、通所：50床）。

医師の医学的管理の下、看護や介護といったケアはもとより、理学療法士などによるリハビリテーションや栄養指導、食事、入浴などの日常サービスまで併せて提供しています。長期入所、短期入所、通所リハビリテーションの3つのサービスがあり、基本的には要介護度1～5の方が利用できます。

あずま荘の役割

- 1：包括的ケアサービス施設

利用者目線で望ましい在宅または施設生活を送れるよう、目標や支援計画を

立て、必要な医療、看護や介護、リハビリを**トータル**で提供しています。

- 2：リハビリテーション施設
在宅での生活機能向上を目指して、**理学療法士が集中的にリハビリ**おこないます。ここが老健の強みであり、アピールポイントです。
- 3：在宅復帰施設
多職種（医師、看護師、介護士、理学療法士、支援相談員、介護支援専門員など）によるチームケアを行い、**早期の在宅復帰**を目指しています。
- 4：在宅生活支援施設
自立した在宅生活が続けられるよう、入所や通所サービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して、**家族の介護負担の軽減**に努めています。
- 5：地域に根ざした施設
家族や地域住民と交流し情報提供をおこない、**地域と一体となったケア**を積極的に担っています。
済生会は「**貧しき人々のために**」を理念として設立されました。このモットーを常に忘れずに、これからの医療介護に必要とされる“**皆様のあずま荘**”でありたいと考えています。



理学療法士によるリハビリ



食堂での食事風景

C型肝炎の新しい治療について

消化器内科

田原博貴・竹内卓

当院の肝臓内科は平成26年度から新体制となり、常勤医2名が入れ替わりました。木曜日午後の肝臓専門外来は、外来医師2名も赴任し、4人体制で診療をしております。

今回の本題についてですが、2014年9月からC型肝炎の治療薬が新たに発売されたので、C型肝炎の治療についてお話しします。

わが国では年間3万人以上が肝がんで亡くなっており、肝がんの原因の約70%はC型肝炎とされています。C型肝炎は、血液を介してC型肝炎ウイルスに感染することで発症しますが、感染すると70%以上は感染が持続した慢性肝炎になり、通常は数十年の経過で肝硬変へと進行します。肝硬変になると年8%程度の発がん率となるため、肝硬変になる前にできるだけ早くウイルスを排除して肝炎を抑えることが非常に重要です。

今までのC型肝炎の標準治療はIFN(インターフェロン)を用いたものでしたが、病

状が進行した肝硬変の方にIFNは導入できませんでした。

2014年9月に新たに発売されたC型肝炎の治療薬は、直接作用型抗ウイルス剤(DAAs: Direct Acting Antivirals)という、2種類の飲み薬になります。ウイルスが増えるのに必要なタンパク質をつくれなくするお薬で、飲む期間は24週間(約6か月)です。IFNの効果がない方も80%近くの方がウイルスを消すことができ、IFNより副作用が少ないため、血小板が低い代償性肝硬変の方でも治療が可能になりました。治療費の助成制度はIFN同様で、一定額での治療が可能です。

ただし、現状ではDAAsの治療が受けられる方は、1型ウイルスの方に限定されるなど、いくつかの制約があります。今後は、新たなDAAsの発売も予定されており、適応が拡大される予定です。

当院でも基準を満たす方は、DAAsでの治療が可能となっております。1人でも多くのC型肝炎の方が治癒されるよう、今後も積極的に最新の治療に対応して参ります。ご希望の方は、まずは木曜午後の専門外来の受診をして頂きますようお願い致します。

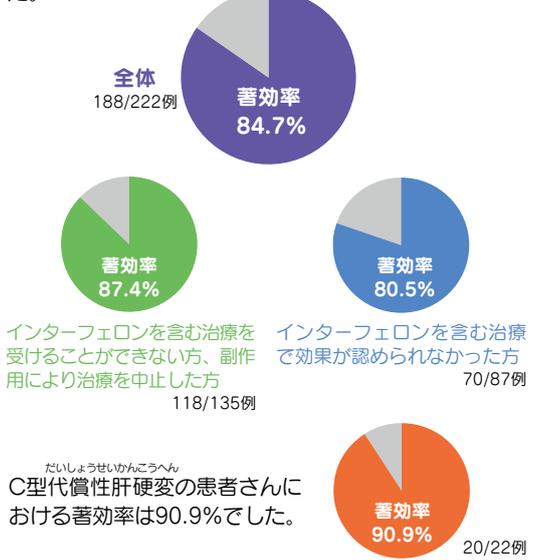
治療スケジュール

ダクルインザ錠・スンベブラカプセル併用療法による治療を24週間(6ヶ月間)受けていただきます。治療終了後24週間の観察期間(6ヶ月間)後に、血液中にC型肝炎ウイルスが認められるかを確認します。ダクルインザ錠・スンベブラカプセルは、**決められた量のくすりを、24週間継続して服用します**。ご自身の判断で途中でくすりの量を変えたり、中断したりしてはいけません。



くすりを飲み忘れることなく24週間きちんと服用することが重要です。

C型肝炎慢性肝炎の患者さんにダクルインザ錠・スンベブラカプセル併用療法を行ったところ、著効率(HCV RNAが認められなかった方の割合)は84.7%でした。



患者さんを励ましに来院！ ザスパクサツ群馬の選手が

8月28日の午後、ザスパクサツ群馬の選手が、入院患者さんを激励に来てくれました。選手も怪我などにより、少なからずリハビリを受けた経験があるということでしたので、その経験を患者さんと共有し伝えることで、患者さんのリハビリの原動力としていただきたいと思います、リハビリテーション科で開催いたしました。

来院してくれたのは、背番号3：青木選手、背番号6：小林選手、背番号8：坂井選手、背番号33：岩丸選手の4選手です。患者さん、スタッフとも選手の到着を待ちわびており、選手の入場とともに歓声と熱い視線が送られ、熱気に包まれた状態となりました。

青木選手に華麗なリフティングを披露していただいた後、4選手には患者さんのリハビリに参加していただきました。

いつもは辛そうにリハビリをしている患者さんが多いのですが、このときばかりは皆さん満面の笑顔でした。

患者さんにとって、入院生活やリハビリは大変ですが、選手たちの激励が少しでも早く回復する原動力となってくれば幸いです。

ザスパクサツ群馬の選手の皆さん、ありがとうございました！



ちなみに、集合写真の後ろにあるユニフォームと、最初に青木選手がリフティングに使用したボールは、ザスパクサツ群馬の熱烈サポーターかつ当院理学療法士の個人コレクションです。



当院とザスパクサツ群馬の出会い

2014年2月、豪雪で辺り一面高々と積もった雪により、当院は診療の継続が困難な状況にありました。病院にいる職員総出で救急外来から雪かきを開始すると、そこへザスパクサツ群馬の選手が応援に駆けつけてくれたのです。当院近郊の宿舎から、歩行困難な道路状況にもかかわらず、駆けつけてくれました。そのおかげで、救急診療を中断することなく遂行することが出来たのです。その後、「ザスパクサツ群馬のアシストパートナーになろうっ！」という話が持ち上がりました。そこで、支援金を病院負担ではなく、職員一人一人からカンパを募りました。

私たち済生会前橋病院は職員一丸となってザスパクサツ群馬を応援しています。

表彰状をいただきました

平成26年9月4日(木)群馬県小児保健会総会並びに研究集会において、小児科代表部長 大島幸雄医師が群馬県小児保健会「ぐんま小児保健賞」を受賞いたしました。これは、こどもの事故・救急処置法の講演やポリオ追加接種において高く評価され、長年小児医療に貢献された医師に贈られる賞です。



患者さんからの投書より

Q.度々病院を利用させていただいておりますが、何時かな？と思った時、時計が無いことに気付きました。通路に1個位あると都合がいいのかな？と思ったのですが、いかがでしょうか？よろしくお願い致します。

A.この度は、ご意見をいただきましてありがとうございます。眼科外来側の通路を確認しましたところ、呼び出しモニター画面内の時計が小さく見えていたため、壁掛け時計を設置することになりました。今後も、気になる点などがございましたら、お近くのスタッフまでお声がけください。

Q.食事がとても美味しかったです。今まで度重なる病気、ケガになり出産を含めると6回も入院しましたが…今までで一番美味しかったです。特に白米は炊き加減がとても上手でした。入院中の唯一の楽しみは食事だけです。味付けも美味しくない病院では完食できないこともありました。味付けも勉強になりました。また、先日の紫陽花セットは格別で色彩もとても美しかったです。ご馳走さまでした。

A.この度は、ご意見いただきましてありがとうございます。当院の食事について、味付けだけでなく色彩についてもお褒めの言葉をいただき、栄養科スタッフ一同大変うれしく思っております。入院中の食事は、疾患などにより提供内容が異なりますが、患者さんの病態に配慮し季節感あるメニューを考えております。入院中の患者さんにとって、食事は楽しみの一つだと思います。今後も栄養科スタッフ一同、患者さんの栄養管理を継続して行うとともに、満足していただけるよう美味しい食事の提供に努めていきたいと思っております。

Q.検査方法や技術のすばらしい病院で有り難いと思います。しかし、体調の思わしくない患者にとって、受付(各科)の事務の時間がかかりすぎて、検査の確認と説明も別室にて長く待たされ大変疲れます(毎回そのように感じています)。複数の患者から、同じような不満の声が出ています。ご配慮をお願いします。

A.この度は、ご意見をいただきましてありがとうございます。各科受付窓口にてお待たせしてしまったことに対し、深くお詫び申し上げます。外来窓口では、患者対応や電話対応、各種問い合わせ等を並行して行っているため、特に患者さんが集中する時間帯では待ち時間が発生してしまう場合がございますが、業務の優先順位を考え、お待ちいただいている患者さんへの気配りを怠ることなく行いたいと思っております。また、外来診療待ち時間については以前より課題であり、問題改善へ今後も病院全体で取り組んでいきたいと思っております。

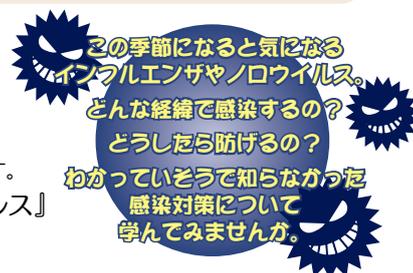
第3回市民公開講座『胃がんは予防できる！』

～胃がんの予防から最新の胃がん治療までをお話します～

- 日時** 12月13日(土) 10:00~12:00
- 会場** 前橋市中央公民館 3階ホール
- 第1部** 講演：胃疾患とピロリ菌（検査と除菌治療について）
講師：消化器内科代表部長兼内視鏡センター長 田中 良樹
- 第2部** 講演：最新の腹腔鏡下胃手術
講師：外科・腹腔鏡外科センター 部長 藍原 龍介

まちなかキャンパス

- 日時** 12月17日(火) 14:00-15:00
- 会場** 前橋市中央公民館 5階 51・52学習室
※会場の都合等ございますので、事前にご予約をお願いいたします。
- 講座** 『どうして感染するの？インフルエンザ・ノロウイルス』
- 講師** 感染管理認定看護師 櫻井 佐智子



イベント案内

「将来の夢」応援します！

親子で参加！夏休み自由研究

病院探検 キッズ探検隊

8月2日(土)小学生の親子を対象とした、病院探検「キッズ探検隊」を開催しました。体験を通じて夢をより現実のものとして感じてもらい、「ぜひ医療従事者になって欲しい、そして当院の職員として一緒に働こう！」という願いを込めて2013年に企画し今年2回目です。

昨年をはるかに上回る多数の応募から抽選を行い、30組60名の親子が参加しました。白衣に着替え、高・中・低学年に分かれて出発！医師、看護師、コメディカルの「おしごと体験」をしました。

最後に修了証を一人ひとりに手渡して、探検は終了です。子供たちの好奇心いっぱい一生懸命取り組む姿に私たちも元気をもらいました。



医師のお仕事



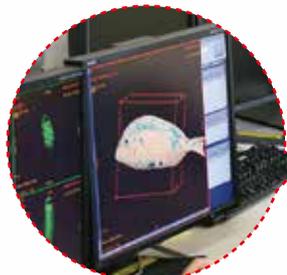
看護師のお仕事



コメディカルのお仕事



薬剤部



こんな画面が見えています。



放射線科



検査科



臨床工学科



リハビリテーション科

ロビーコンサート

日時：7月12日(土)
場所：1F 整形外科外来待合ロビー
出演：『女声合唱団
クール・ファミリー』さん



今年で4回目となるクール・ファミリーさんによるコンサートは、聴いて歌って元気になれるコンサートと大変好評をいただいております。

第1部は「シンコペイテッド・クロック」や「踊る子猫」などクール・ファミリーさんの公演。第2部は「上を向いて歩こう」や「高校三年生」「涙そうそう」など一緒に歌うコーナーで、約150名の来場者のみなさんには楽しい時間を過ごしていただきました。

あずま荘納涼祭

あずま荘看護師長

上原 久江



8月6日(水)あずま荘納涼祭を開催いたしました。日中から38度を越える猛暑となり夕方になっても蒸し暑さが続く中、福田荘長のあいさつにより開会となりました。地域の皆様による『フラダンス』『踊り』『合唱』『太々神楽』『太鼓演奏』の披露により、納涼祭の場を大変盛り上げていただきました。また、出店にはやきそば・カキ氷・フランクフルトなどを用意し、ご来場の皆様には夏の楽しいひと時をお過ごしていただけたかと思えます。ご来賓・ご利用者・ご家族をはじめ、多くの皆様にご協力をいただき、事故や体調不良者を出すことなく、無事に納涼祭を終えることができました。ご協力をいただいた皆様に対し、心より感謝を申し上げたいと思います。

今後も地域の皆様との繋がりを大切に、開かれた施設として積極的に地域との交流に努めていければと思っております。

ふれあいデー2014

日時：9月13日(土)
場所：1F 外来フロア



『ふれあいデー 地域の皆様と共に歩んで10周年』をテーマに、『ふれあいデー2014』を開催しました。ふれあいデーは、当院を支えてくださる地域の皆様への感謝の意を込めて、毎年開催している病院祭です。

記念すべき第10回を迎えた今年は、約700名の方にご来場いただき大盛況となりました。毎年人気の健康チェック、体力測定、AEDの使い方、病院見学、バザー、抽選会などの他、お子さんにはかき氷、スーパーボールすくい、ヨーヨーつり、ブーメラン作りなどで楽しんでいただきました。また、地元小学校の3校の絵画展示と入選作品の表彰、自治会サークルの作品展示やステージ演奏など行い、地域の皆様に大勢参加していただきました。

ふれあいデーを通じて、多くの皆様に「親しみやすい身近な病院」と感じていただけたら光栄です。

外来医師診療表

◆休診日：第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

◆内科総合外来の担当医師は変更することがあります。

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制 【午後】完全予約制
平成26年10月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土(第1・3)
内科総合 外来(初診)	9:00 10:30	福田	高田	池田	長坂	吉永	交替制
	10:30 12:00	吉田	梅元	三島	小林	加藤	
血液内科	午前	星野			高田	初見	
	午後		佐倉・高田 初見・星野 小林	佐倉			
腎臓内科	午前	梅元	岡部		三島		
	午後	木村				三島・池内 [COPD外来]岡部(第4)	
内分泌内科	午前						荻原
	午後	荻原		青木	荻原		
呼吸器内科	午前				久田(第3休診)		岡山
	午後			牧元・岩崎		岡山(第2)	
消化器内科	午前		樋口 田原	樋口・吉永 吉田	蜂巢	田中 竹内	
	午後				高木(第2・4)・田原 竹内・橋爪		
循環器内科	午前	池田 舘野	中野・福田 戸島	中野・福田 戸島	中野・土屋 佐鳥	池田・土屋 [循環器外来]福田(第5休診)	池田 福田
	午後	【禁煙外来】池田		【ペースメーカー外来】池田 【心不全・動脈硬化外来】舘野	【弁膜症・先天性 心疾患外来】舘野		
外科	午前	藍原・矢内 斉藤	細内・鈴木 【乳腺外来】中里	西田・藍原 矢内	細内・鈴木 吉田	細内・吉田 【乳腺外来】中里	交替制
整形外科	午前	後藤 長谷川	中島 濱野	中島 高橋	長谷川・濱野 リハビリ科 白倉(第1・3)	後藤 高橋	第1:中島・長谷川 第3:後藤・高橋
心臓血管外科	午後	石山		石山			
小児科	午前 (一般)	溝口	大島	溝口	大島	溝口 【循環器】鈴木(尊)	第1:大島 第3:溝口
	午後	【喘息・アレルギー・慢性疾患】大島 【内分泌・代謝外来】溝口	【喘息・アレルギー・慢性疾患】 大島	【内分泌・代謝外来】 溝口	【乳児検診(第1・3)】 【予防接種】大島	【喘息・アレルギー・慢性疾患】大島 【内分泌・代謝】溝口 【循環器】鈴木(尊)	
眼科	午前	福地・中村	岸・中村	中村	中村	丸山	群大
泌尿器科	午前	鈴木(和)					

交通のご案内

- * 新前橋駅よりタクシーで10分
- * 前橋駅よりバスで20分
- * 高崎駅よりバスで40分



上信バス時刻表案内
(済生会前橋病院発着予定時刻表)
平成26年10月1日現在

行先	前橋駅行	中央前橋駅行	高崎駅行
7	45	07	01 44
8		35	18 52
9	48	19	57
10	50	22	36
11		42	02 40
12			16
13	03	48	06
14			03
15	12	44	12
16		32	10
17	05		08 40
18		01	34 18
19	09 59		25 45
20			06

●印:土日祝日は運休 ●印:土日祝日のみ運行

※前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。

お問い合わせ

代表番号

☎027-252-6011

- 患者さんへ ●前橋市成人健康診査のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011内線1101
- 人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-0959(直通)
- 医療機関様 ●診察・検査(CT・MRI・内視鏡(上部・下部))・入院・
セカンドオピニオン・緩和ケアのご紹介
地域連携課 ☎027-252-1751(直通)
- 介護関連 ●入所・通所に関するご相談
介護老人保健施設あずま荘 ☎027-254-0108
- 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
地域包括支援ランチあずま荘
- 介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘 ☎027-255-1511